

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

| | |
|--------------------------------|---|
| 研究課題名 | BTB 法による ACL 再建術後 3 カ月の SLST 達成の有無と筋力回復の関連 |
| 当院の研究責任者 | リハビリテーション科 阿部 肇 |
| 本研究の目的 | BTB 法による膝前十字靱帯(ACL)再建術後 3 カ月時点での 30 cm 片脚立ち上がりテスト(single-leg sit-to-stand Test)達成の有無が 5 カ月後の筋力回復と関連するかを検討する。 |
| 調査データ 該当期間 | 西暦 2023 年 1 月から 2023 年 12 月までの情報を調査対象とする |
| 利用又は提供を開始する予定日 | 西暦 2025 年 10 月から |
| 研究の方法 (使用する情報) | <p>●対象となる患者さま 西暦 2023 年 1 月から 2023 年 12 月までに整形外科で前十字靱帯再建術を施行した患者</p> <p>●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する 患者背景(年齢、性別、現病歴、既往歴、合併症) 生理学的検査値(身長、体重、BMI) その他(BIODEX 膝伸展筋力・膝屈曲筋力 体重比および健患比 片脚立ち上がりテスト評価)</p> |
| 試料/情報の 他の研究機関への提供 及び提供方法 | ■他の機関への試料・情報の提供はない |
| 研究代表機関 | 東京警察病院 リハビリテーション科 |
| 個人情報の取り扱い | 本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように加工した上で、細心の注意を払い安全に管理します。 なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることは形でまとめます。他機関の研究者に既存試料・情報を提供する場合は、対応表は提供せず、個人の識別が出来ないよう措置を行います。 |
| 問い合わせ・連絡先 | リハビリテーション科 理学療法士 高柳智一 PHS:3383 |